

Version1.0. y

取扱説明書

型番：CSFIELKT



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。



警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。



注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。

警告



改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。

修理は弊社サポートまでご相談ください。



定格 15A 以上の単独コンセントを使う。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ



電源コードは破損したまま使わない。電源コードを傷つけない。

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟み込むなど) 火災・感電の原因



差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因



差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



電源コードや差込プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因。



ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。



0.6L 目盛を超えて、水を入れない。

お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。また、水が 0.2L マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。



フタを勢いよく閉めない。

お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。



蒸気孔をフキンなどでふさがない。

お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。

また、ふたの変形の原因。



水以外のものをわかさない。

お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障の原因。



氷を入れて保冷用に使わない。

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。



抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。

お湯が流れ出て、やけどのおそれ。



ポットを転倒させない。

お湯が流れ出て、やけどのおそれ。



本体は、水につけたり水をかけたりしない。

ショート・感電・発火のおそれ。



ふたをつけたまま、残り湯をすてない。

ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。



使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。

けがややけど絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



必ず差込プラグを持って引き抜く。

感電や、ショートして発火するおそれ。

安全上のご注意

⚠ 注意



アース線を取り付ける。
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。



使用中や使用後しばらく高温部にふれない。
やけどの原因。



タコ足配線はしない。
火災のおそれ。



お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。



水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因。

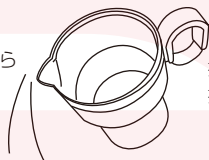


残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。またやけどのおそれ。



壁や家具の近くで使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

注ぎ口から
捨てる



持ち手部
持つ



不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。
火災の原因



本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。



ふたを開けたりはすすとぎに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因



本体をさかさにして置かない。
底部が水にぬれていると、底部から水が本体内部に入り故障の原因。



湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

ご注意

- 吸・排気孔をふさぐような場所や、室温の高い場所(約40度以上)では使わない。

カーペット、ビニール袋などの上には、置かない。感電や漏電、火災・故障の原因。

- 熱に弱いものや、溶けやすいものなどの近くで使用しない。

底から暖かい空気が出るため、変色・変形の原因。

- 火気の近くでは使わない。

変形・故障の原因。

- 直射日光が長時間あたる場所では使わない。

本体が熱くなるなど、故障の原因。

- カラだきをしない。

水を入れないで通電すると、内容物の熱変色、故障の原因。

- キッチン用収納棚など、囲われた場所で使うと、高温から低温設定した保温時の湯冷ましの時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。

アース線の取り付け

⚠ 警告



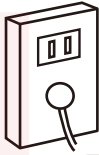
アース線を取り付ける アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

◆アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行って下さい。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



アース端子

アース線

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています)

⚠ 注意



次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)

- ガス管、電話線、避雷針、水栓(蛇口)
- ・水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源 (コンセント)

⚠ 警告



- 電源コードを傷つけない。
 - ・傷つけない、加工しない。・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない。
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない。

● セット内容



①本体・フタ ②携帯用コップ ③電源コード(70cm) その他携帯用カバー付属

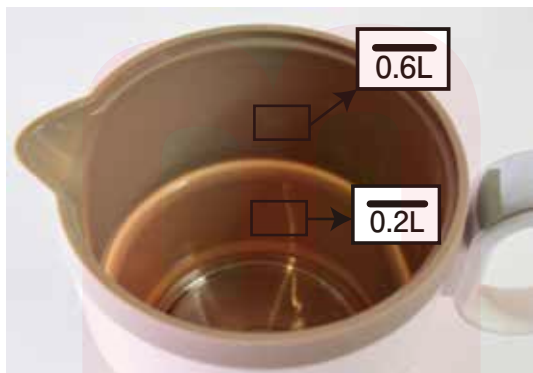
● 準備



ポット本体を広げます。ポットのフタを外した状態で、底を手でひっぱり伸ばします。

- 初めてお使いになるとき/長時間お使いにならなかったときは、一度湯をわかし、湯を捨ててからご使用下さい。
- ミネラルウォーター、アルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物やポット内部に乳白色のざらざらしたものが付く場合があります。これはミネラル分で有害ではありません。ミネラルウォーター、アルカリイオン水を使用する場合は、こまめにお手入れをしてください。

● 使い方

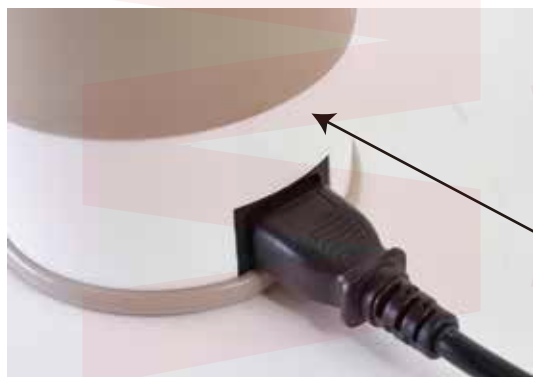


①ポットに水を入れます。水を入れる際はカップなど別の容器を使用して水を入れて下さい。※電源プラグ差込口に水がかからないように注意して下さい。

最大0.6Lまで入ります。ポット内側の目盛を確認して下さい。0.6Lの目盛以上水を入れないでください。また0.2Lの目盛以上水を入れて下さい。※0.6L/0.2Lは目安となります。



②フタをしっかりと閉じます。浮いたところがないか、確認して下さい。フタを上から押さえつけると水がこぼれる可能性がありますので注意して下さい。



③電源コードを本体の電源プラグに差し込み、コードのプラグをコンセントに差し込みます。

※電源コードを本体に差す際、白いプラスチック部分を持って下さい。茶色のシリコン部を持つと水がこぼれる可能性があります。

● 操作パネルの使い方



がOFFになり、沸とうを停止します。沸とう(100℃)になるまで温度が上がり続け、100℃になると「OFF」表示に変わります(沸とうの終了)沸とう終了のお知らせアラーム音はありません。

◆沸とう(100℃固定)

コードをコンセントに差し込むと、ピーッと音が鳴り「OFF」が表示されます。

On/Offボタンを押すと、現在の水温度表示&沸とうランプが5回点滅した後、点灯に変わり、沸とうモードに入ります。

途中で沸とうモードを取り消したい時は、沸とう中(点灯状態)にOn/Offボタンを押すと表示

◆保温

On/Offボタンを押すと、OFF→沸とう→保温→カルキぬき→OFF…とモードを変えられ、ピッピッと音が鳴ります。沸とう・保温・カルキぬきモードの場合、各モードの下のランプが点灯します。保温にする場合、On/Offボタンを押し、保温を選択します。



保温ランプが5回点滅し、50℃の表示になります(保温初期設定は50℃です)ランプ点滅中に温度設定ボタンを押し、ボタンを押す度に1℃ずつ上昇します。90℃(最大)の次は30℃(最低)に戻ります。温度設定ボタンを長押しすると素早く数値を上げる事が出来ます。

温度設定後、現在の水温度表示&保温ランプが5回点滅した後、点灯に変わり、設定温度まで上がります。お知らせアラーム音はありません。

保温中(点灯状態)にOn/Offボタンを押すと表示がOFFになり、保温を停止します。温度設定は保温モード中いつでも変更可能です。

現在の水温度が設定温度よりも上の場合、設定温度まで下がった時点で保温をします。

保温ボタンの5回点滅中にOn/Offボタンを押すと、次のモード(カルキぬき)に変わります。(次項参照)

モード変更した場合、前回設定した保温温度は記憶されません。常に50℃からスタートします。

◆カルキぬき

沸騰させることで、水道水のカルキをとばすことができます。

カルキぬきにする場合、On/Offボタンを押し、カルキぬきを選択します。(カルキぬきランプが点滅し、現在の水温度が表示されます)



ランプと表示が5回点滅後、100℃になるまで温度が上がり、100℃を5分キープした後OFFになります。5回点滅中にOn/Offボタンを押すと、次のモード(OFF)に変わります。カルキぬき中(点灯状態)にOn/Offボタンを押すと、表示がOFFになり、カルキぬきが停止します。

沸とう中・保温・カルキぬき中は、シリコン部分はとても熱くなりますので、絶対にシリコン部を触らないでください。

● 空だき防止機能

水が入っていない状態で沸とうやカルキぬきなどの加熱を行うと、過熱による故障を防ぐため、空だき防止機能がはたらき、沸とうが停止します。ピーピーピーと警告音が鳴り、【E3】と表示されます。

空だき防止機能が働いた後は、電源コードを抜き、ポット内が冷めた後水を入れて再び電源コードを繋いで使用して下さい。

● 湯をそそぐ

湯をそそぐ際は必ず持ち手部分を持って下さい。絶対にシリコン部(茶色)に触れないでください。火傷する可能性があります。

また中にお湯が入った状態で、絶対に本体を上から押さえたり、フタを強く押さないでください。中から湯があふれ火傷する可能性があります。

● 使用後

使用後はコードをコンセント・本体から抜き、残った湯を捨ててください。※湯や湯気に触れて火傷しないようご注意ください。

本体を折りたたんで収納する場合、本体内部及びフタ部分をしっかり乾燥させてから、上から押さえて畳んで下さい。

ポット外側の汚れはよく絞ったやわらかい布などでふき取ってください。水につけて洗わないでください。フタ、携帯用コップはやわらかいスポンジで洗ってください。みがき粉やタワシ、ブラシ等を使用すると傷つく可能性がありますので使用しないでください。

● 携帯用コップの使い方



付属の携帯用コップは、ポットと同様に伸ばして使用することができます。



コップを伸ばす際は、必ずフタを外してから行って下さい。畳む時も同様にフタを外して下さい。

熱い飲み物が入っている場合、必ずコップの白い部分を持ってください。シリコン部(茶色)に触れないでください。火傷の可能性があります。またコップ内に飲み物が入っている状態で、上から押さえたりすると、飲み物がこぼれる可能性がありますのでご注意ください。

ご注意

※海外使用の動作確認・保証についてはサポート外です。

※フタを開ける際は大量の蒸気があるので火傷にご注意ください。

※本体を水につけたりかけたり、本体の丸洗いはしないでください。

※燃えやすい物の近くや、熱に弱い物の上で使用しないでください。

※火傷の恐れがあるので、使用中や使用後しばらくはシリコン部や本体の金属部には触れないでください。

※子供の手の届かない場所でご使用・保管してください。

※電圧を変えて使うときは、必ずコンセントを抜いて電源が切れた状態からご使用ください。

※記載されている物以外は付属いたしません。

※落としたり強い衝撃を与えないでください。

※分解しないでください。

※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。

※仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。

● **仕様**

サイズ	使用時:幅115×高さ170×奥行180(mm) 折り畳み時:幅115×高さ240×奥行65(mm)
重さ	522g
付属品	本体、携帯用コップ、電源コード(70cm)、カバー、日本語説明書
定格電圧	AC100-120V 220-240V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	470-680W 490-580W
定格容量	0.2L~0.6L
沸騰温度	100度
保温	30~90度
保証期間	12カ月(※保証に関しては国内使用に限る)

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートを受ける際に必要となりますので、保管して下さい。

サポートのご案内

◆修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応させていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください。(お届け日より 1 週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付頂けます。)

弊社ウェブサイトにて新しいマニュアルを公開している場合がございます。(PC サイトのみ)

<https://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&A ページに記載している場合がございます。

<https://www.thanko.jp/support/qa.html>

◆メールでのお問合せ

お客様のお名前、商品名、お問合せ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡下さい。(マイクロソフト、Yahoo、携帯メールアドレスでは返信できない場合があります)

support@thanko.jp

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷に関してはサポート外となります。

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4階

TEL 03-3526-4328 FAX03-3526-4329

(月~金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)